

令和5年度岩倉市行政評価 庁内評価結果総括

第5次岩倉市総合計画2年目の単年度評価として、令和4年度実施施策の全86単位施策に対して評価を行った。

施策担当課において施策の実施状況を検証し、実施計画、予算編成、施策の方向づけを検討した後、秘書企画課において、担当課の施策に対する方針を聞き取ったうえで、全庁的な視野で評価し、取りまとめたものである。その結果の概要について報告する。

なお、「取組内容」と「成果指標」の各々の達成度を組み合わせた評価基準により評価を行っている。

1. 総括

全体として、取組内容の達成度は「(2) ある程度の取組ができている」が約9割となり、昨年度と同程度であったものの、成果指標の達成度ではコロナ禍の収束とともにイベントや事業を実施する上での様々な制限が緩和されたことなどにより上昇し、「(Ⅱ) 成果指標の実績値が策定時の現状値からは向上、改善しているもの」となった施策が増加し、評価結果としては「B 施策がめざす将来の姿に向け、概ね順調に進んでいる」の割合が高くなった。

行政評価で示された具体的な改善策等については、必要に応じて、実施計画への計上や予算等に反映させるとともに、翌年度にその進捗状況について検証することで、今後も総合計画の進行状況を管理し、施策を具体的に推進していく。

2. 評価結果

単位施策86施策のうち、取組内容の達成度については「(1) 取組が充実している」が9施策（構成比10.4%）、「(2) ある程度の取組ができている」が76施策（構成比88.4%）、「(3) 最低限の取組はできている」が1施策（構成比1.2%）、成果指標の達成度については「(Ⅰ) 成果指標の実績値が目標値に対して順調に推移している」が19施策（構成比22.3%）、「(Ⅱ) 成果指標の実績値が策定時の現状値からは向上、改善しているもの」が36施策（構成比42.4%）、「(Ⅲ) 成果指標の実績値が現状値と同等又は外的要因により低下したもの」が29施策（構成比34.1%）、「(Ⅳ) 成果指標の実績値が策定時の現状値から低下しているもの」が1施策（構成

比 1.2%) となり、評価結果については「A 施策がめざす将来の姿に向け、順調に進んでいる」が 2 施策 (同 2.3%)、「B 施策がめざす将来の姿に向け、概ね順調に進んでいる」が 57 施策 (同 66.3%)、「C 順調とまでは言えず、取組内容に改善・努力が必要」が 25 施策 (同 29.1%)、「D 取組に一層の努力が必要又は取組及び指標の見直しが必要」が 2 施策 (同 2.3%) となった (次表参照)。前年度と比較して、A 評価が 2、B 評価が 10 増加し、C 評価が 10、D 評価が 2 減少した。

		令和 3 年度		令和 4 年度	
		施策数	構成比	施策数	構成比
評価結果	A 施策がめざす将来の姿に向け、順調に進んでいる	0	0%	2	2.3%
	B 施策がめざす将来の姿に向け、概ね順調に進んでいる	47	54.7%	57	66.3%
	C 順調とまでは言えず、取組内容に改善・努力が必要	35	40.7%	25	29.1%
	D 取組に一層の努力が必要又は取組及び指標の見直しが必要	4	4.7%	2	2.3%
	E 取組ができておらず、単位・個別施策の見直しの検討も必要	0	0%	0	0%
取組内容	(1) 取組が充実している	5	5.8%	9	10.4%
	(2) ある程度の取組ができています	77	89.5%	76	88.4%
	(3) 最低限の取組はできている	4	4.7%	1	1.2%
	(4) 取組そのものができていないもの	0	0%	0	0%
成果指標	(Ⅰ) 成果指標の実績値が目標値に対して順調に推移している	12	14.1%	19	22.3%
	(Ⅱ) 成果指標の実績値が策定時の現状値からは向上、改善しているもの	31	36.5%	36	42.4%
	(Ⅲ) 成果指標の実績値が現状値と同等又は外的要因により低下したもの	41	48.2%	29	34.1%
	(Ⅳ) 成果指標の実績値が策定時の現状値から低下しているもの	1	1.2%	1	1.2%

※構成比は小数点第 2 位を四捨五入

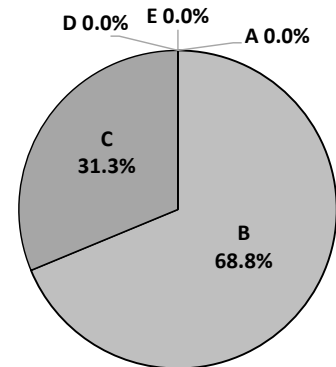
※「第 1 章－基本施策 7 生活困窮者支援－単位施策 (2) 適切な保護の実施」については成果指標なし

※評価基準については別添「評価基準表」のとおり

※単位施策ごとの評価結果の一覧は「令和 5 年度行政評価結果 (令和 4 年度実施施策)」のとおり

基本目標 1 健やかでいつまでも安心して暮らせるまち

基本施策	施策数	評価結果				
		A	B	C	D	E
1 母子の健康づくり	2	0	1	1	0	0
2 成人の健康づくり	2	0	1	1	0	0
3 医療・感染症予防	2	0	0	2	0	0
4 地域福祉	2	0	2	0	0	0
5 高齢者福祉・介護保険	3	0	3	0	0	0
6 障がい者（児）福祉	3	0	2	1	0	0
7 生活困窮者支援	2	0	2	0	0	0
合計	16	0	11	5	0	0
構成比	100.0%	0.0%	68.8%	31.3%	0.0%	0.0%



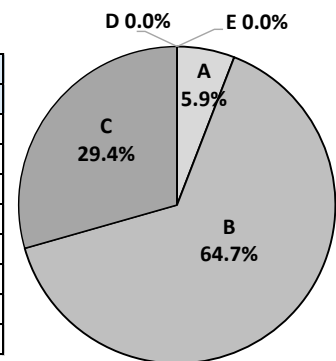
※構成比は小数点第 2 位を四捨五入

基本目標 1 の評価結果は B 評価が 11 施策、C 評価が 5 施策となっています。

3 割強の単位施策で取組内容に改善・努力が必要であるものの、7 割弱の施策は概ね順調に推移しています。

基本目標 2 個性が輝き心豊かな人を育むまち

基本施策	施策数	評価結果				
		A	B	C	D	E
8 子育て・子育て支援	5	1	3	1	0	0
9 学校教育	4	0	2	2	0	0
10 生涯学習	2	0	2	0	0	0
11 市民文化活動	2	0	2	0	0	0
12 文化財の保護・継承	2	0	1	1	0	0
13 スポーツ	2	0	1	1	0	0
合計	17	1	11	5	0	0
構成比	100.0%	5.9%	64.7%	29.4%	0.0%	0.0%



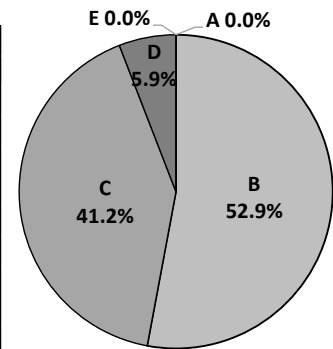
※構成比は小数点第 2 位を四捨五入

基本目標 2 の評価結果は A 評価が 1 施策、B 評価が 11 施策、C 評価が 5 施策となっています。

3 割弱の単位施策で取組内容に改善・努力が必要であるものの、6 割以上の施策は概ね順調に推移しており、「保育サービス等の充実」については、待機児童（保育園）の解消により成果指標の達成度が（I）となったことで A 評価となりました。

基本目標 3 利便性が高く魅力的で活力あふれるまち

基本施策	施策数	評価結果				
		A	B	C	D	E
14 移動環境	2	0	1	1	0	0
15 市街地	2	0	0	2	0	0
16 住環境形成	3	0	2	1	0	0
17 上下水道	2	0	2	0	0	0
18 農業	4	0	2	2	0	0
19 商工業	2	0	2	0	0	0
20 観光・交流	2	0	0	1	1	0
合計	17	0	9	7	1	0
構成比	100.0%	0.0%	52.9%	41.2%	5.9%	0.0%



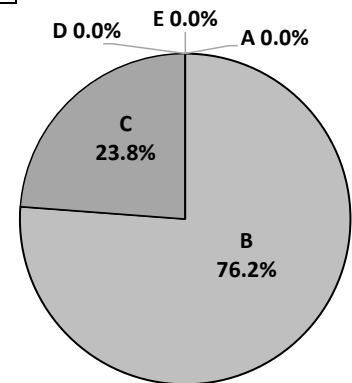
※構成比は小数点第2位を四捨五入

基本目標3の評価結果はB評価が9施策、C評価が7施策、D評価が1施策となっています。

4割強の単位施策で取組内容に改善・努力が必要となっており、「地域間交流の推進」については、コロナ禍の影響で思うような取組ができなかったことでD評価となっており、これらの取組が課題となっています。その他過半数以上の単位施策は概ね順調に推移しています。

基本目標 4 環境にやさしい うるおいあふれる安全なまち

基本施策	施策数	評価結果				
		A	B	C	D	E
21 水辺環境の整備・活用	2	0	2	0	0	0
22 緑と公園	2	0	2	0	0	0
23 総合的な環境政策の推進	4	0	3	1	0	0
24 廃棄物・リサイクル	2	0	1	1	0	0
25 防災・浸水対策	3	0	3	0	0	0
26 消防・救急	3	0	2	1	0	0
27 防犯・交通安全	5	0	3	2	0	0
合計	21	0	16	5	0	0
構成比	100.0%	0.0%	76.2%	23.8%	0.0%	0.0%



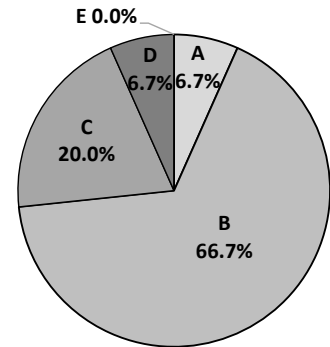
※構成比は小数点第2位を四捨五入

基本目標4の評価結果はB評価が16施策、C評価が5施策となっています。

約2割の単位施策で取組内容に改善・努力が必要であるものの、約8割の単位施策は概ね順調に推移しています。

基本目標 5 協働と自治による持続可能なまち

基本施策	施策数	評価結果				
		A	B	C	D	E
28 市民協働・地域コミュニティ	3	0	3	0	0	0
29 平和・共生	3	0	3	0	0	0
30 情報発信・情報共有	3	0	2	1	0	0
31 行政経営・財政運営	4	0	1	2	1	0
32 組織・人事マネジメント	2	1	1	0	0	0
合計	15	1	10	3	1	0
構成比	100.0%	6.7%	66.7%	20.0%	6.7%	0.0%



※構成比は小数点第2位を四捨五入

基本目標5の評価結果はA評価が1施策、B評価が10施策、C評価が3施策、D評価が1施策となっています。

2割の単位施策で取組内容に改善・努力が必要となっており、「公共施設等の総合的かつ計画的な管理」については、岩倉北小学校屋内運動場等複合施設の建設により、公共建築物の延床面積が増加したため成果指標の達成度が「(IV)」となったことでD評価となり、これらの取組が課題となっています。

また、約7割の単位施策は概ね順調に推移しており、「職員の能力開発」については、岩倉市職員人材育成基本方針の策定と、それを踏まえた取り組みの充実により取組内容の評価が(1)となったことでA評価となりました。

評価基準表

単位施策の評価基準については、「取組内容」と「成果指標」の各々の達成度を組み合わせることにより、A～Eの5段階評価とする。(マトリクス評価)

A…施策がめざす将来の姿に向け、順調に進んでいる

B…施策がめざす将来の姿に向け、概ね順調に進んでいる

C…順調とまでは言えず、取組内容に改善・努力が必要

D…取組に一層の努力が必要又は取組及び指標の見直しが必要

E…取組ができておらず、単位・個別施策の見直しの検討も必要

単位施策の評価基準表

成果指標 取組内容	(Ⅰ)	(Ⅱ)	(Ⅲ)	(Ⅳ)
(1)	A	B	B	C
(2)	B	B	C	D
(3)	C	D	D	D
(4)	E	E	E	E

<取組内容の達成度>

	取組内容
(1)	取組が充実している
(2)	ある程度の取組ができている
(3)	最低限の取組はできている
(4)	取組そのものができていないもの

<成果指標の達成度>

	成果指標
(Ⅰ)	成果指標の実績値が目標値に対して順調に推移している
(Ⅱ)	成果指標の実績値が策定時の現状値からは向上、改善しているもの
(Ⅲ)	成果指標の実績値が現状値と同等又は外的要因により低下したもの
(Ⅳ)	成果指標の実績値が策定時の現状値から低下しているもの